

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

【研究課題名】好酸球性副鼻腔炎に合併する難治性中耳炎病態の発症要因に関する検討】

【研究機関名】東邦大学医療センター大森病院

【研究責任者】耳鼻咽喉科 職位・氏名 助教・大平真也

【試料・情報の利用目的】

好酸球性副鼻腔炎は慢性副鼻腔炎の中でも難治性の病態と考えられていますが、時に難治性の中耳炎病態を合併することあります。好酸球性副鼻腔炎の発症要因としては喘息などのアレルギー疾患との関連が報告されておりますが、解剖学的構造との関連性は乏しいとされております。難治性中耳炎病態合併に関わる解剖学的構造の違いを含めた発症要因を解明することで、好酸球性副鼻腔炎の手術を受ける患者様の中で、将来的に難治性中耳炎病態を発症する可能性を予測できると考えます。

そこで、東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科では、術前採血、副鼻腔 CT、術後経過などで確認できる情報を元に難治性中耳炎病態合併の要因を調べるために本研究を計画しました。この研究で得られる成果により、難治性中耳炎病態を合併する患者様の特徴を把握することができるとともに、将来的に難治性中耳炎病態を合併するリスクのある患者様を同定することが可能になると考えます。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料：術前の採血、副鼻腔 CT 等

情報：病歴、術後経過 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者：2017年1月～2019年6月までに東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科において、内視鏡下鼻内副鼻腔手術を受けた方で、好酸球性副鼻腔炎の診断に至った方と、対象期間に好酸球性副鼻腔炎の診断とならなかった慢性副鼻腔炎（非好酸球性副鼻腔炎）50例を対象とします。

方法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。術前採血の末梢血好酸球数、Lund-Mackay Score、ポリープ中好酸球数、JSREC score、重症度、副鼻腔炎の再発・難治性の有無や蝶形骨洞、錐体尖、耳管などの解剖学的構造を確認し、難治性中耳炎病態を合併する因子を調査します。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大森病院 研究代表者： 大平真也 役職： 助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科・大平真也

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2023年12月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 耳鼻咽喉科

職位・氏名 助教・大平真也

電話 03-3762-4151 内線 77047